

平成30年・大阪支部「秋季歴史探訪の会」開催報告

(中井正清関連 京都建造物巡り：仁和寺・二条城) 担当：大阪支部「集いの会」

日時：平成30年9月29日（土） 09：30～17：00 参加者数：29名

内容： 仁和寺・・・中井正清の建てた京都御所の建物を移築した金堂、その他建造物の見学
・二条城・・・中井正清が建て、その後幕末まで中井家が増改築、維持管理していた建造物の見学
・妙心寺・・・中井家が関与した禅宗様の建造物の見学
・懇親会・・・中京区の「居様」にて懇親会実施

なお今回の歴史探訪は名工会京都部会との共同企画、合同実施です。

報告：

- ・法隆寺大工の中井正清は、その活躍詳細が名工大の故城戸久名誉教授が研究され、世間に知られることとなりました。我々の春の関ヶ原歴史探訪では、正清の関ヶ原の戦いでの活躍で徳川家康から大きな信頼を得た事を学びました。その後正清は家康の京都大工頭として多くの城郭をはじめとする国宝級建造物の建築に携わります。その中井正清関連の京都建造物として今回は仁和寺、二条城と妙心寺を巡りました。
- ・当日は折からの台風24号の影響で朝から終日雨になりましたが、雨にめげる事なく多くの方が参加され、逆に観光客も少なく、混雑を避けて重要な見どころをじっくり見学できました。建造物につき岡崎支部長の詳しく丁寧な説明で、参加された方々も認識を新たにすると云われる方が多かったです。
- ・仁和寺の見学の重点は金堂で、中井正清が慶長度（1613年）に造営した内裏の紫宸殿を仁和寺へ移築し、元の檜皮葺を本瓦葺に変えて金堂としたもので、正清のすっきりとした作風が色濃く残っており、現存する紫宸殿建築物では最古の建物でもあり、仁和寺では特異な存在感を放っていました。
- ・二条城は家康の命で中井正清が造営した5大城のひとつで、慶長11年（1606）に完成しました。その後、寛永3年（1626）の後水尾天皇の行幸に備えて、中井家二代目の中井正侶が大工棟梁を務めて増改築を完成させ、現在の二の丸御殿は当時の建築で絢爛たる桃山文化の遺構が確認されました。
- ・更には二条城建造後、中井家が代々に渡って二条城の補修、修理を担当し、当時の姿を維持管理しており、中井家が200年以上の長き間、建てた建造物をきちんと守ってきた姿勢にも感銘を受けました。
- ・夜の懇親会ではこれら見学の話で盛り上がり、懇親を深めることができました。
- ・来春の歴史探訪は、丹波篠山をバスで巡り、篠山城遺構や大書院、旧城下町を訪問する予定です。特に篠山城大書院は京都の中井家に集結した各地の大工が、各地域に戻って同様な建造物を建築し、二条城の二の丸御殿の影響が色濃く残ると云われています。名工大と非常に縁のある中井家の更なる探訪となる企画ですので是非ともご参加下さい。春には皆さまと再度お会いできる事を楽しみにしています。



仁和寺三門にて



仁和寺金堂前にて



二条城二の丸御殿にて

(記：横山 誠 K47)